

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)

【公開番号】特開 2003-316018 (P2003-316018A)
 【公開日】平成 15 年 11 月 6 日 (2003.11.6)
 【出願番号】特願 2002-117648 (P2002-117648)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 F 7/24

G 0 3 F 3/10

【F I】

G 0 3 F 7/24 G

G 0 3 F 3/10 B

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 24 日 (2005.3.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

感光材料を巻きつけ保持する感光ドラムと、前記感光ドラムに保持された感光材料を露光する光学ユニットとを少なくとも含み構成される画像記録装置において、前記感光ドラムと前記光学ユニット間の距離を測定する測距手段と、該測距手段により前記感光ドラムに保持された前記感光材料の巻きつけ位置を検出し、その検出結果を基に前記光学ユニットの前記感光材料に対する画像記録開始位置の調整を行う制御手段とを設けたことを特徴とする画像記録装置。

【請求項 2】

前記感光材料に対する画像記録開始位置の調整は、前記光学ユニットが前記感光材料に対して照射する光ビームの照射開始タイミングに関する調整であることを特徴とする請求項 1 記載の画像記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

本発明は、上記課題を鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、感光材料を保持するドラム面と光学ユニット間の距離を測定する測距手段を設け、該測距手段によってドラム面に保持される感光材料の位置を検出し、感光材料に対する画像記録開始位置の調整を行って、感光材料の所定位置に良好な画像を記録することのできる画像記録装置を提供することにある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、請求項 1 記載の発明は、感光材料を巻きつけ保持する感光ドラムと、前記感光ドラムに保持された感光材料を露光する光学ユニットとを少なくとも含み構成される画像記録装置において、前記感光ドラムと前記光学ユニット間の距離を測定する測距手段と、該測距手段により前記感光ドラムに保持された前記感光材料の巻きつけ位置を検出し、その検出結果を基に前記光学ユニットの前記感光材料に対する画像記録開始位置の調整を行う制御手段とを設けたことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 9

【補正方法】削除

【補正の内容】